

感染再拡大に向けた総合的な保健・医療提供体制 ①

現状(最大値)

医療機関+臨時の医療施設等
約**9,200**床

医療機関

臨時の医療施設等

確保病床

緊急対応
入院待機ステーション

6,651床

46床

回復期支援病床

軽症~中等症
酸素・医療提供ステーション
など

1,785床

720床

宿泊療養施設

受入居室数 **16**施設 約**3,200**室

自宅療養

自宅療養者
フォローアップセンター

パルス
オキシメーター

150人体制(令和3年8月)
※通常50人体制

約**10**万台確保

今後の体制

医療機関+臨時の医療施設等
約**9,440**床

医療機関

臨時の医療施設等

確保病床

緊急対応
入院待機ステーション

6,891床 **+240**床

46床

回復期支援病床

軽症~中等症
酸素・医療提供ステーション
など

1,785床

720床

宿泊療養施設

受入居室数 **31**施設 約**7,900**室

自宅療養

自宅療養者
フォローアップセンター

パルス
オキシメーター

約**250**人体制 **体制強化**
(一般相談専用窓口含む)

約**21**万台確保 **+11万台**

■ 計数は現段階のものであり、今後変更する可能性あり

感染再拡大に向けた総合的な保健・医療提供体制 ②

すべての患者が速やかに、継続して健康観察や診療等を受けられる体制

■ 保健所や発熱相談センターを介さない診療・検査体制の拡充

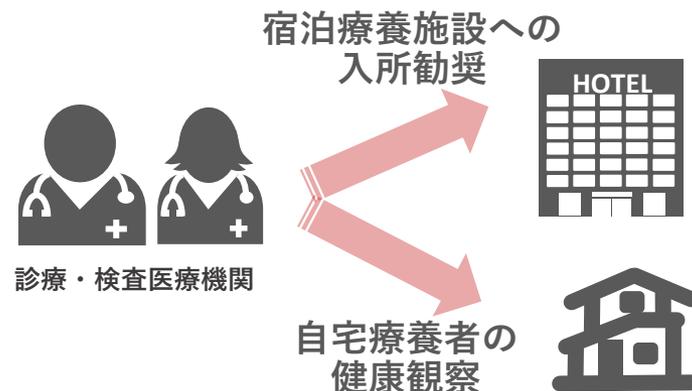
➤ 発熱時に診療・検査を行う医療機関の役割の強化と更なる公表



診療・検査医療機関マップ

■ 医療機関による療養種別の勧奨等

➤ 無症状者や重症化リスクのない患者に対する宿泊療養の勧奨や自宅療養者の健康観察の実施



■ 陽性判明後、宿泊療養を希望する患者が、自ら申込可能な電話窓口を設置

➤ 早期に入所できる仕組みを構築

【宿泊療養申込窓口】

03-5320-5997

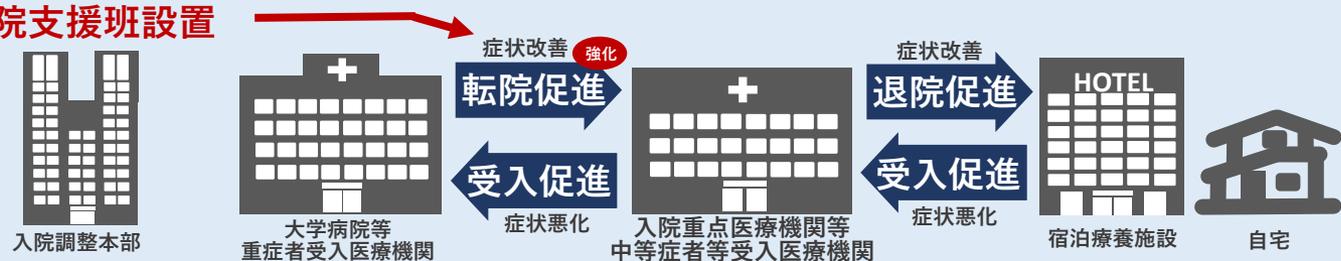
(11月15日~)

感染再拡大に向けた総合的な保健・医療提供体制 ③

必要な方が迅速に病床や臨時の医療施設等に受け入れられ
確実に入院につながる体制

- 必要な病床数6,891床確保 (今夏と比べて約3割増の入院患者の受け入れが可能)
- 入院調整本部に専任の転退院支援班(仮称)を設け、**転退院を促進**

転退院支援班設置



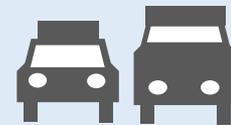
- 酸素・医療提供ステーションの**多機能化**

➢ 外来診療や入院待機者の診療等機能を強化



- 症状に応じた患者搬送を円滑に行うため、**搬送用陰圧車両の増**や効率的な配車オペレーションにより、**輸送人員を増加**

車両台数(予算ベース)



約540台→さらに積み上げ

〔 宿泊療養施設、酸素・医療提供ステーション、中和抗体薬投与のための搬送車両合計 〕